

令和7年度予算特集

「共創の花開く年」 3つの重点項目

新年度予算では、市全体に根付いた「共創」の取り組みが具体的な形となり、まちの至る所で美しい花を咲かせていくよう、3つの重点項目「水都大垣の再生」「まちの拠点づくり」「子どもの居場所づくり」を中心に、「選ばれるまち大垣」の実現に向けて、より一層魅力的なまちを創り上げていきます。

ここでは、新規事業を中心に主な事業を紹介します。詳しくは、市HPの「当初予算の概要」をご覧ください。



市HP

水都大垣の再生

◆清水町緑地整備事業

まちなかの憩いの場として、美濃路沿道の新たな湧水スポット「清水町緑地」を整備する(令和6～7年度事業)。

- 東屋整備
- 説明看板設置ほか



令和6年度に井戸が整備された「清水町緑地」

◆四季の路の再生事業

水門川遊歩道である「四季の路」(2.2km)は、整備から30年以上が経過しており、樹木の大径化、路面不陸などが発生しているため、歩道修景や緑地整備などを実施する。

- 貴船広場および周辺歩道などの再整備

◆水都を感じられる活動支援事業

川遊びなどの水辺を生かした活動や、地下水に親しむイベントを開催する市民団体を支援する。

- SUP体験会、ロマンスTHEレストランほか



ロマンスTHEレストラン(昨年)

◆水都大垣まちなか回遊促進事業

「歩いてみたい・歩きたいウォークラブルなまちづくり」をテーマに、まちなかにおける情報案内体制を充実させ、水都大垣を感じてもらおう「まち歩き」を促進し、賑わいの創出を図る。

①大垣駅デジタルサイネージ整備事業

大垣駅にデジタルサイネージを設置し、PR動画を放映するなど、市民や来訪者に対して「水都大垣」をPRする。

- 設置場所／駅南口タクシー乗り場周辺

②まちなかデジタル案内情報整備事業

まちなかの「湧水」や景観遺産などを効率よく楽しく回遊できる「デジタル案内情報(オリジナルデジタルガイドマップ)」を作成し、スマホなどを活用した「まち歩き」の促進を図る。

③まちなか案内サイン整備事業

テーマ別ルートを設定し、ルートごとの回遊性を向上させるため、順次、案内サインを整備する。

今年度は、水門川・牛屋川沿いの水辺ルートを中心として、案内サインの新設と更新を行う。



まちなか案内サイン整備のイメージ

その他、水都大垣かわまちテラス開催事業、水都大垣ブルーライトアップ事業、湧水保全フォーラム全国大会in水都大垣事業 など

まちの拠点づくり

◆大垣公園等再整備事業

大垣公園等再整備基本計画に基づき、「100年先も愛され続ける大垣のシンボルパーク」となるよう、官民連携による事業実施に向けた事業者選定の準備や、基礎調査を行う。



上空から見た大垣公園周辺

◆北公園等再整備事業

北公園等再整備方針に基づき、駐車場や広場の整備に向けた調査を行うとともに、公園内の老朽化した施設の計画的な長寿命化改修などを実施する。



北公園野球場

◆大垣西インターチェンジ周辺道の駅等推進事業

大垣西インターチェンジ周辺土地利用のコンセプトである「ぎふ西美濃の新たなゲートウェイ」にふさわしい「道の駅」の整備に向けて、検討委員会を設置し、整備方法をはじめ、周辺土地利用のゾーニングなどを盛り込んだ「道の駅等基本方針」を策定する。



上空から見た大垣西IC周辺

◆大垣駅南前地区市街地再開発事業

旧百貨店を中心とした大垣駅南前地区において、中心市街地への居住促進と賑わいを創出するため、都市型住宅や商業店舗などを主要用途とした市街地再開発事業を支援する。

◆東地区センター改築事業

老朽化の著しい東地区センターの改築工事を実施する。建設にあたっては、子どもの居場所として活用できる多目的室[子育て交流室]を設置する(令和4～7年度事業)。

子どもの居場所づくり

◆子どもの居場所づくり事業

- 子どもの居場所づくり事業補助金
- こどもんち設置事業
- 子どもの居場所サポート事業

◆南こども園建設事業

老朽化が著しい南保育園を改築し、教育・保育を一体的に実施する幼保連携型認定こども園として整備する(令和6～9年度事業)。

◆小・中学校屋内運動場空調機整備事業

児童生徒の熱中症予防を図るとともに、災害時の避難所となる小・中学校の屋内運動場に空調設備を設置する。

- 空調機設置(小学校10校)ほか

◆小・中学校屋内運動場改築事業

- 綾里小/既設解体、改築工事
- 西部中/改築設計ほか

◆子どもの職業・社会学習体験機会創出事業

令和6年度に続き、子どもたちが、楽しみながら社会について学ぶことができる機会を創出するため、市内事業者などの職業体験ができるイベントを開催する。



昨年の様子

◆オンライン不登校対策事業

外部とのつながりが持てていない生徒に対し、メタバース仮想空間において、アバターを介した交流活動の場を設定し、他者とのコミュニケーションの機会を提供する。

◆子どもの学習・生活支援事業

生活にお困りの世帯などの子どもに、教職経験者や学生ボランティアによる学習支援などを行う。